

【様式】

令和4年度 学校マネジメントシート

学校名（ 久居高等学校 ）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		学校生活の充実と確かな進路保障を通じて、生徒・保護者・地域から信頼され、魅力ある学校づくりを推進する。
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣・規範意識を身につけ、何事にも意欲的、誠実に取り組む創造性豊かな生徒。 ○日々の授業を大切に、家庭学習等を通じて、学力の定着と向上に取り組む生徒。 ○部活動や生徒会活動に積極的に参加し役割を担うことにより、責任感と協調性のある生徒。 ○さまざまな教育活動を通じて、互いを尊重し合い、違いを認め合うことのできる心豊かな生徒。
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> ○率先して教育活動に取り組む意欲と活力のある教職員集団。 ○さらに充実した授業・「わかる授業」を実践するために、公開授業や教科内・校内での改善活動を積極的に推進する教職員集団。 ○信頼される学校であるために、教育に携わる者としての自覚と規範意識を持ち、生徒への深い愛情に基づく教育を実践するとともに、同僚と協働することができる教職員集団。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<p>【生徒】 充実した授業を受けたい。活発なクラブ活動をしたい。進路希望を実現したい。</p> <p>【保護者】 安全・安心の学校生活。卒業後の進路保障。モラルの向上。社会人として自立できる力を育ててほしい。</p> <p>【地域】 公共心とマナーの育成。地域の普通科高校として信頼できる教育を推進してもらいたい。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待		連携する相手への要望・期待
	<p>【保護者】 毅然とした生活指導を行いながらも、子どもの心に配慮した教育を行なって欲しい。</p> <p>【中学校】 学校の様子、卒業生の近況報告、入試情報などを知らせて欲しい。</p> <p>【地域】 交通マナー、公共の場でのマナーを守らせて欲しい。</p>	<p>【保護者】 本校教育方針への理解と協力。家庭でのしつけと指導の強化。</p> <p>【中学校】 連携を密にとりながら信頼関係を構築していきたい。</p> <p>【地域】 本校の教育活動を理解し、協力してもらいたい。</p>	
(3) 前年度の学校関係者評価等		<ul style="list-style-type: none"> ○保健室利用状況や教育相談の利用者が昨年度より減少しているが、コロナ禍で見えないところで生徒のストレスがたまっていることも考えられる。引き続き、教育相談体制等の充実を図り、生徒を見守っていただきたい。 ○生徒は学校行事を楽しみにしている。コロナ禍で実施が難しいこともあると思うが工夫して実施していただきたい。 ○久居高校はスポーツ科学コースが特色のあるコースであったので、普通科に組み入れられても、さらなる充実を図っていただきたい。 	
(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習の習慣の意識付けをはかるとともに、基礎学力の向上については授業を充実させることに課題がある。 ○各取組が学校全体の連携した取組になっていないこと、有効な取組が継続的に実施するシステムが十分でないことに課題がある。そのため、各分掌、学年の取組が全体最適になるように連携を深める必要がある。 ○多様な生徒への対応が求められる中、面談の機会を増やすなど、丁寧な指導体制を確立するとともに、教育相談体制を充実させる必要がある。 ○外部の協力も求めながら、生徒の進路選択の助けとなる研修、セミナー等を一層充実させる必要がある。 	

学校 運営等	<p>○授業改善については、授業見学だけでなく、研究授業や協議、指導要領の変更点については現職教育等を行うことで、周知だけでなく、本校の目指す教育について共通の認識を持つことが課題である。</p> <p>○具体的な活動・成果指標を客観的に計り、改善点を次年度に提示するシステムとなっていない点に課題がある。</p> <p>○教職員の勤務時間の縮減に向けて、業務のスリム化を一層進めるとともに、休業日の増設など、より目に見える形での方策を検討する必要がある。</p>
-----------	--

3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>1. コースの魅力化・充実</p> <p>○普通科・スポーツ科学コースを普通科の中に組み入れ、その特色を継承しながら、よりいっそうの充実をはかる。</p> <p>○生徒の多様な進路希望に対応するため各コースの充実をはかる。</p> <p>○ICTの活用等による、各コースの学びの充実。</p> <p>2. 進路保障に向けた取組</p> <p>○自分の将来・未来を切り拓く力を獲得するとともに、仲間とともに未来を切り拓いていく力の育成。</p> <p>○家庭学習習慣の定着を通じて学力を向上させる。</p> <p>○生徒の進路希望実現に向けて進路指導の内容・体制を充実させ、進路実績の向上を目指す。</p> <p>○規範意識・基本的な生活習慣の定着・向上に重点を置くとともに、互いを尊重する心・思いやりの心を育む生徒指導の推進。</p> <p>3. 人権教育の推進</p> <p>○生徒・教職員・保護者が差別を見抜き、差別を許さない姿勢を身につけられるよう、学習や研修会を通して、人権問題解決に向けた実践力を身につける。</p>
学校運営等	<p>1. 教職員の資質向上</p> <p>○新学習指導要領と観点別評価、高大接続改革、ICT教育への対応</p> <p>○授業参観、教科会の活用を通じて教職員の授業力の向上に取り組む。</p> <p>2. 地域への発信</p> <p>○広報活動の体制と内容を改善・充実させる。</p> <p>3. 教職員の働きやすい環境づくり</p> <p>○総勤務時間を縮減し、働きやすい環境づくりを推進する。</p> <p>○部活動指導の工夫・改善、「部活動ガイドライン」への対応。</p> <p>○不祥事防止を他人事としてとらえず、自分の問題としてとらえ、信頼される学校であるよう行動する。</p>

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
1. コースの魅力化・充実	<p>○普通科・スポーツ科学コースを普通科の中に組み入れ、その特色を継承しながら、よりいっそうの充実をはかる。</p> <p>●授業規律の徹底、各部活動の充実 【体育科】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外実習の充実 ・部活動の充実 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラスを対象としたアンケートで満足度 80%以上。 	<p>○【達成】</p> <p>1年 85.7%</p> <p>2年 93.5%</p> <p>3年 84.0%</p> <p>○【未達成】</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の退部者 0 名。 ○生徒の多様な進路希望に対応するため各コースの充実をはかる。 ●チャレンジコースの系統的な指導体制を充実させ、確実な学力を身につけさせると共に、チャレンジコース教科担当教員の進学指導力を向上させる【チャレンジコース推進委員会】 【活動指標】 ・各学年、チャレンジコース教科担当者会議（模試分析など）を定期的実施する。 ・課外授業やスタディサポートラーニングシステムを活用しながらより充実した教科指導体制を構築していく。 ・学習研究部とタイアップした指導により 1 年次から系統的指導を行う。 ・GTZ や偏差値などの客観的数値を見ながら個別指導や取り組みの改善を行う 【成果指標】 ・1、2 年生については、1 月実施の模擬試験において、英数国総合の平均偏差値を昨年度より 1 ポイントあげる。 ・3 年生については、複数名の国公立大学合格を目指す。 	<p>5 名退部（2 年生）</p> <p>○【未達成】</p> <p>1 年-0.2 ポイント 2 年-2.3 ポイント</p> <p>英検（1 次結果）2 級 1 名・準 2 級 8 名・3 級 2 名</p> <p>○ 2 名合格</p>	
<p>2. 進路保障に向けた取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の将来・未来を切り拓く力を獲得するとともに、仲間とともに未来を切り拓いていく力の育成。 ●授業や学校行事にクラスごとに精力的に全力で取り組む雰囲気醸成し、お互いに高め合う。 【1 学年】 【活動指標】 ・基本的生活習慣の確立や授業規律の確保 (SHR・LHR・学年集会等の様々な機会を通じて指導を行う) ・学校行事（体育祭・文化祭等）にクラス一体となって取り組む。 【成果指標】 ・遅刻数について前年度 1 年生より 5%減 ・学期ごとにアンケートをとり、達成度・満足度 90%以上 ●将来に向けて、自分のことは自分で管理する力を養うとともに、1 つ 1 つの成功体験を通して「やればできる」感を高めていけるようにする。 【2 学年】 【活動指標】 ・学習計画、考査や模試の振り返り等を手帳に落とし込み、やるべきことの管理を生徒自ら行っていけるようにする。 ・日頃の取り組みにおいて、生徒が主体的に取り組めるように、各活動の実施内容を工夫する。 【成果指標】 ・手帳の活用状況についてチェックおよび指導を行い、その内容によって評価する。有効活用されている割合 70%以上を目指す。 	<p>○【未達成】遅刻数：前年比 40%増</p> <p>○【ほぼ達成】満足度 87%</p> <p>○【未達成】52% 朝の SHR 16 回 学年 LHR 2 回</p>	<p>※</p> <p>※</p>

<p>・ホームルームや学年行事を、生徒自らが展開する回数によって評価する。年間 20 回以上を目指す。</p> <p>○生徒の進路希望実現に向けて進路指導の内容・体制を充実させ、進路実績の向上を目指す。</p> <p>●生徒の多様な進路希望にきめ細かく対応するため、各学年団との連携を強化しながら進路指導の内容を充実させ、生徒満足度が高い進路指導を展開する。 【進路指導部】</p> <p>【活動指標】</p> <p>・3 学年主任を加えた進路指導部会を定期的実施し、各セミナー別指導の進捗状況と生徒情報を共有しながら課題等の解決を図っていく。</p> <p>・コロナ禍での進路指導を工夫する。(ICT の活用など)</p> <p>・チャレンジコースの指導を充実させる。(課外授業や動画視聴による教科指導体制を構築するなど)</p> <p>【成果指標】</p> <p>・年度末に 3 年生全員への進路指導満足度調査を実施すると共に、各セミナー指導に対する調査も実施し、満足度 90%以上を目指す。</p> <p>○規範意識・基本的生活習慣の定着・向上に重点を置くとともに、互いを尊重する心・思いやりの心を育む生徒指導の推進。</p> <p>●問題行動(遅刻、交通マナー、訓戒、謹慎、懲戒等)を抑止し、生徒指導件数を少なくする活動をすすめる。 【生徒指導部】</p> <p>【活動指標】</p> <p>・街頭での立番、日頃の声かけ等を行い、生徒との信頼関係を作っていく。</p> <p>【成果指標】</p> <p>・問題行動(遅刻、交通事故、特別指導)件数の昨年度比 10%減。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症の予防対策を行い、集団発生を防ぐとともに、長期欠席者の早期把握に努め、学年団・教科と連携し指導の充実を図る。 【保健部】</p> <p>●学業、友人関係等の悩みを抱えている生徒や特別な支援を必要とする生徒をスクールカウンセラーや発達支援員などにつなげ、担任、教科担当者とも連携し、生徒が安心して学校生活を送ることができるようにする。また保護者支援としてスクールカウンセラー、必要に応じてソーシャルワーカーにつなげ登校への足がかりとする。 【教育相談】</p> <p>【活動指標】</p> <p>・生徒対応時や保健だより等の掲示物で感染症対策を周知させる。</p> <p>・疾患のある生徒の健康管理を徹底する。</p> <p>・保健室利用時の問診等を通して生徒自らが生活習慣を改善できる力を養う。</p>	<p>修学旅行 2 回</p> <p>○【達成】希望する進路が実現できた生徒 98% セミナー指導の内容や担当教師の指導への満足度 96%</p> <p>○【未達成】遅刻件数：昨年度とほぼ同数(在学生徒数・休校期間を考えると実質増) 特別指導：昨年比+2 件</p>	<p>※</p>
--	---	----------

	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康状態について学年団、教科との連携を密にし、情報共有と指導を行う。 ・支援が必要な生徒等について個別の指導計画、支援計画を作成する。 ・悩みを抱えた生徒への対応を考える機会になるような参加型の職員研修を実施する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科検診で受診勧告をした生徒の受診報告書の回収率 10%。 ・保健委員会活動、年間 5 回以上。 <p>●進路決定、卒業を目標とし、かつ「新成人」として規律正しい生活を送れるよう指導する。 【3 学年】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に 1 回の個人面談を行う。 ・昼休みに教室・廊下の巡視を行う。 ・身だしなみ、遅刻・欠席をしない、忘れ物をしない、提出期限を守る等、HR で声掛けを行う。 ・授業準備をして自席でチャイムを待てるよう、HR・授業で徹底する。 ・セミナー、模擬試験の受講・受験を促す。 ・定期テスト期間、長期休業中の学習計画と結果をシートで報告させる。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期末にアンケートを実施し、「規律正しい生活を送れた」と回答した生徒を 90%以上とする。 ・全員が進路を決定し、卒業する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○【未達成】回収率 2% (6名/236名) ○【達成】年間 5 回実施 <ul style="list-style-type: none"> ○【達成】1 学期末「できた」64%・「ほぼできた」33% 2 学期末「できた」73%・「ほぼできた」24% 	※
3. 人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒・教職員・保護者が差別を見抜き、差別を許さない姿勢を身につけられるよう、学習や研修会を通して、人権問題解決に向けた実践力を身につける。 <p>●あらゆる機会（授業・ホームルーム活動・部活動・日常での係わりなど）を通して生徒の人権を尊重することにより、人権教育を日常の教育活動としていくことをめざす。そのための一つとして、教職員研修を充実させ、人権意識向上をめざす。 【人権教育担当】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常における教育活動の検証 ・LHR を活用した人権学習の充実 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを実施し、人権教育推進度の達成率を 80%以上とする。 ・生徒アンケートにおいて、学習達成度 80%以上をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○【ほぼ達成】人権教育カリキュラム」取組状況達成度アンケート：教科・分掌・学年の平均は 76% ○【達成】「人権学習年間振り返りシート」における生徒の学習達成度：「しっかり理解し、学習できた」83% 	
改善課題			

○学校生活アンケートの結果、学校生活に前向きに取り組もうとしている生徒が増えており、生徒の成長が見られる。生徒が1年次から目的意識を持ち、進路実現に向けて取り組むことができるよう、キャリア教育をさらに充実させる

○年々問題行動の数が減ってきているが、頭髪・服装・遅刻などの基本的な生活習慣に課題がある生徒もいる。「ブラック校則」や「LGBTQ」への関心が高まる中、校則等の見直しを行っているが、引き続き家庭との連携や進路指導の面からもアプローチし、生徒自身に気づかせ、成長を促したい。

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
1. 教職員の資質 向上	<p>○授業参観、教科会の活用を通じて教職員の授業力をはじめとする力量向上に取り組む。</p> <p>●各教科に授業参観を促し、授業の方法や工夫について共有する教科会を行い、授業力の向上や授業改善につなげる。</p> <p style="text-align: right;">【教務部】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員に授業参観を促す。 ・ICT機器を活用するため、電子黒板の機能説明、利用手引きを作り、全教職員に提示する。 ・ICTの効果的な活用事例について、情報共有を行う。 ・全教員の授業参観数の平均が3回以上。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒満足度調査で、授業関連の満足度80%以上。 ・ICT機器を活用した授業を行った教員80%以上。 	<p>○【達成】生徒満足度調査肯定的意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業のすすめかた」88% ・「授業のわかりやすさ」85% ・「授業をきちんと受けている」93% ・「科目選択は思いどおりに選択できた」86% <p>○【達成】ICT機器を活用した授業を行った教員増加</p>	◎
2. 地域への発信	<p>○広報活動の体制と内容を改善・充実させる。</p> <p>●中学生に対して、魅力あるメッセージが届けられるように、オープンスクールの実施内容やホームページを見直す。</p> <p style="text-align: right;">【総務部】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校で何を学び何が実現できるかを明確に伝える。 ・生徒や卒業生の活躍を伝える。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートにおいて、「以前よりも本校に興味が出た」と回答した中学生の割合を80%以上とする。 <p>●広報活動の内容や方法等を改善し、効果的な広報とする。</p> <p style="text-align: right;">【広報委員会】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員による「久居高校」としての中学校訪問を1回以上実施し、選抜方法や本校のカリキュラムの特色(単位制・高大 	<p>○【達成】98.4%</p>	

	<p>連携等)、実績等をわかりやすく伝える。特に前期選抜の受検型=所属コースについて、コースの目指す方向性や趣旨と関連させて中学校に説明する。オープンスクールや学校説明会と連携・調整して効果的な広報活動にする。</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期選抜の倍率を 1.10 倍以上にする。 	<p>○【未達成】0.99 倍 志願者 132 名 (昨年比-10 名)</p>	
<p>3. 教職員の働きやすい環境づくり</p>	<p>○総勤務時間を縮減し、働きやすい環境づくりを推進する。</p> <p>●過重労働時間の減少を図る。 【管理職】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月 2 回の定時退校日を設定する。 ・会議資料の精選やデスクネットを活用し、会議時間の短縮をさらにすすめる。 ・45 時間以上の過重労働職員の数を 0 人とする。 ・休暇取得を増加させる。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月 2 回の定時退校日（原則第 2・4 の月曜日）に定時に退校できた職員の割合を 80%以上にする。 ・放課後に開催された会議のうち、60 分以内で終了した会議の割合を 100%とする。 ・休暇取得 24 日以上、うち年休取得 14 日以上を目指す。 ・年 360 時間を超える時間外労働者数を 0 人とする。 ・月 45 時間を越える時間外労働者の延べ人数を 0 人とする。 <p>○部活動指導の工夫・改善、「部活動ガイドライン」への対応。</p> <p>●部活動休養日を設定する。 【管理職】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動休養日を原則週 1 回土・日（試合等がある場合は翌週）に設定する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週 1 回設定できた部活動の割合を 100%とする。 <p>○不祥事防止を他人事としてとらえず、自分の問題としてとらえ、信頼される学校であるよう行動する。</p> <p>●不祥事を根絶するため、職員への啓発を図る。 【管理職】</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度作成した「信頼される学校であるための行動計画」に則った活動・点検を行う。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「信頼される学校であるための私の行動計画」の自己評価で「できた」と答えた職員の割合を 100%とする。 	<p>○【未達成】69% (2月末現在)</p> <p>○【未達成】87.3% (2月末現在)</p> <p>○【未達成】休暇取得 19.4 日、年休取得 10.6 日 (2月末現在)</p> <p>○【未達成】 19 人(2月 末現在)昨年 6 人</p> <p>○【未達成】107人(2月 末現在)昨年35人</p> <p>○【ほぼ達成】99% (2月末現在)</p> <p>○不祥事1件あり</p> <p>○【ほぼ達成】不祥事の 防止・服務規律の確保1 00%、働きやすい職場 づくり 84.6%、授業力の 向上97.9%</p>	<p>◎</p>

改善課題

○各コースの魅力化を図り、中学生が本校の教育内容について、より理解を深めることができるよう情報発信に力を入れる。

○週休日の部活動指導を考えると時間外労働時間の縮小には限界がある。休暇取得を推進し、総勤務時間の縮減を図る必要がある。また教員定数が減少する中、業務を精選するとともに、特定の教員に業務が偏らないよう平準化を図る。

○不祥事を自分事としてとらえ、問題意識を持つよう、定期的に自己点検を行う。

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	<p>○久居高校の先生は、生徒の話をよく聞いてくれるので、安心して学校に子どもを送り出すことができた。引き続き生徒の支援・見守りをお願いしたい。</p> <p>○久居高校の魅力は、進学にも就職にも対応できる場所である。特に公務員や看護系の志望者に対応できる場所に魅力を感じている中学生の保護者も多い。引き続き生徒の進路実現に向け、充実を図っていただきたい。</p> <p>○生徒アンケートの結果をみると、家庭での学習時間が少ない。家庭学習の習慣をつけることでさらなる学力アップにつなげていただきたい。</p>
---------------------	--

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	<p>○生徒の様々な悩みに対応し、生徒がストレスを溜め込まないよう、相談しやすい体制を充実させる。また気になる生徒について、情報共有を図るとともに教育相談・特別支援教育の更なる充実を図り、生徒一人ひとりの状況把握と指導・支援を行う。</p> <p>○家庭との連携を図りながら、生徒に家庭学習の方法を指導することで、主体的な取組へとつなげる。</p>
学校運営についての改善策	<p>○中学生が本校について、理解を深めることができるよう、本校の教育内容や卒業後の進路について、ホームページの更新や中学校訪問を行い、情報発信に力を入れる。</p> <p>○中学校の先生が本校に求めていることを把握するため、アンケートを行い、学校運営に反映させる。</p>